

店報



美子浦

平成29年 (2017)

9月号

No. 666

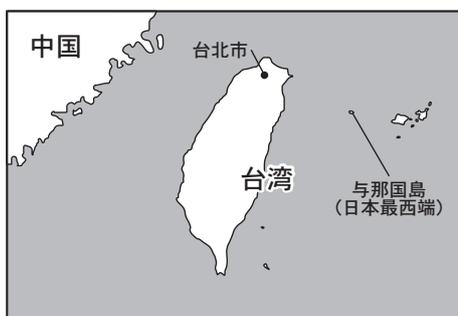


平和への思いが心に鳴り響く！
(広島平和記念公園・「平和の鐘」にて)

美浦少年のつばさ事業

台湾の伝統と文化に触れた六日間

美浦中学校二年生が 台北市立敦化国民中学を訪問



今年で25回目をむかえる「美浦少年のつばさ事業」は、海外の同世代の人々との交流を通じて国際感覚を備えた美浦村の将来を担っていく人材の育成を目的に、美浦村人材育成推進協議会が毎年行っている事業です。今年7月31日から8月5日までの6日間、美浦中2年生16名を含む美浦村訪問団が台湾を訪れました。

今年も中学2年生の団員募集には多数の応募があり、抽選により16名の団員が決定しました。団員の皆さんは、普段の生活との違いに戸惑い、言葉の壁にぶつかりながらも、台北市立敦化国民中学の生徒との交流を通じてかけがえない友人ができました。台湾の伝統と文化を身近に体験した6日間でした。

◇引率者

《敬称略》

団長 糸賀 正美 (美浦村教育長)
富岡 正幸 (美浦中学校校長)
若林 功 (美浦中学校教諭)
大久保 朗子 (美浦中学校教諭)
石川 大志 (役場企画財政課)
元井 絹代 (語学教師・通訳)



訪問団団長
美浦村教育長

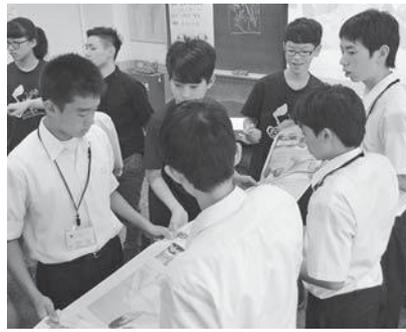
糸賀 正美

このたび、「平成29年度美浦少年のつばさ事業」で訪問団の団長として参加いたしました。

同事業は、美浦中学校と敦化国民中学の生徒との交流を中心とするもので、昨年10月に両校で友好交流の協定を締結後、初めての訪問となり、より深化した交流をすることができました。

交流事業では、身振り手振りでの自分の意思を相手に伝える体験、相手の顔を一筆で描き、そこにメッセージを添える絵の作成、美術の授業では、マップリングの体験、国立伝統芸術センターでは、もの作りの体験、さらに、両校の生徒がそれぞれの願いを一緒に書いた、天燈を上げる体験もしました。美浦中の各生徒が、様々な場面で、ペアとなった敦化中の生徒とコミュニケーションを取る姿を、私はとても心強く感じました。

中学生の年代に海外での国際交流を体験することは、将来の美浦村を担っていく子ども達にとって大変貴重な経験であります。このような機会を提供いただきました、美浦村の皆様から感謝を申し上げます。



芝崎 有伊稀
(2 - A)

僕はこの少年のつばさ事業を終えて、学習したことがたくさんあります。その中の1つは、美浦中学校で勉強している英語です。英語は世界共通語です。僕は英語の勉強が苦手で「この少年のつばさに行き、英語を覚えたい」と思い、台湾に行きました。敦化中との交流は本当に忘れられない2日間でした。事業全体としては5泊6日という長い期間でしたが、僕たちがこうやって台湾に行けるのは、親、先生、美浦村のおかげです。そのありがたみや感謝を今後忘れずに、日常生活や学校生活で少年のつばさ事業で教わったことをやりとげていきたいです。



葉梨 未羽
(2 - A)

今回、たくさんの人たちのお力を借りて無事に帰国できたこと、本当に感謝しています。台湾の建物はとても美しく、日本とは違う独特の雰囲気が印象的でした。その中でも、台北101は夜景が驚くほどきれいで感動しました。そして台湾の食べものです。かき氷を食べたり、ソフトクリームを食べたりして、日本にはないものがたくさん食べられました。交流でもたくさんの友達と仲良くなれて台湾のこともたくさん教えてもらいました。協力して下さった皆さん本当にありがとうございました。すべて私の大切な思い出です。

私は、少年のつばさに参加して台湾の敦化中学の生徒と2日間交流をしました。初めはお互いに言葉が通じずあまり話すことができませんでした。しかし、ジェスチャーや英語等を使ってコミュニケーションをとれるようになり、嬉しかったです。敦化中の生徒は楽器の演奏で私たちを歓迎してくれ、その後にプレゼント交換やゲームをして絆を深めることができ楽しい思い出を作れました。交流以外でも、台湾と日本の歴史や食文化の違いを身をもって体験することができました。6日の間で学んだことをこれから活かしていきたいです。



松本 佳苗
(2 - A)

僕は、今回の少年のつばさ事業を通してたくさんのことを学びました。まず1つ目は、敦化中生との交流です。言葉が通じ合わないとき、そんな時は、学校の授業でもやっている英語で話したりジェスチャー等を使って説明したりして通じ合わせていきました。2つ目は、台湾の歴史や文化です。日本では歩行者は右側通行ですが、台湾では左側通行ということです。だから、日本のままの感覚で右側通行をしていたら注意されました。これを活かしてまた台湾に行ったら気を付けたいと思います。



山田 友也
(2 - A)



石井 花恵
(2 - B)

私たち16名は、美浦中の代表、そして日本の代表として台湾で交流し、歴史や文化等、日本では体験できなかったことをこの5泊6日の研修で学ぶことができました。3日目と4日目の敦化中の生徒との交流では、敦化中の生徒が話していても内容が分からず言葉の壁を体験しましたが、敦化中の生徒の子が英語やジェスチャーを使って話しかけてくれて、お別れするころには、すっかり仲良くなることができました。そこで私は、国や言葉は違っても国境を超えて仲良くできるんだなと思いました。



伊藤 尊
(2 - B)

僕は今回この美浦少年のつばさ事業で台湾に行き、様々なことを学びました。まず始めに、敦化中の人達としっかり英語で会話できたことです。僕はそこまで話すことができないと思っていたのですが、自分の分かる簡単な言葉やジェスチャーを使って会話できたので意外と通じました。次に文化のことで、台湾は日本と違ってバイクが多いことです。日本では基本車での移動ですが、台湾ではバイクの移動が基本だそうです。僕はこの研修で知らなかったこともたくさん学びました。また台湾に行き、様々なことを学びたいです。



菊池 宇泰
(2 - B)

僕は敦化中学との交流会に
対し始めはこの程度の英語力では
コミュニケーションがとれず会
話が續かないのではないかと不
安に思っていました。しかし実
際行ってみると、みんな明るく
出迎えてくれてとても話しやすい
雰囲気ですぐに友達になるこ
とができました。不安だった英
語も伝わると徐々に自信がつい
てきて自分から積極的に話せるま
でになりました。帰国後も数人の
友達とメールで連絡を取り合っ
ていますが、もっと深い会話が
できるよう、これからも英語を
勉強し今回の事業の目的である
国際感覚を備えた人材になっ
ていきたいと思ひます。



鳶津 裕太
(2 - B)

僕は外国に行ったことがあり
ませんでした。なのでこの美浦
少年のつばさ事業で良い経験が
できたと思ひます。そして敦化
中学の同級生との交流ではた
くさんのことを学びました。1
つ目は会話のしかたです。敦化
中学のみんなは日本語を話すこ
とができないので、共通語の英
語を使って会話をしました。な
ので英語のリスニング力や話す
力等がついたと思ひます。2つ
目は敦化中学生の優しさです。
トイレに行きたいと言ったら、
トイレの場所まで丁寧に教え
てくれました。本当に良い交流
でした。他にも、台湾の歴史を
知ることができてよかったです。

僕は、この少年のつばさ事業
でたくさんのことを学べたと思
ひます。特に、現地の中学生と
交流した際に「言語や文化が違
っても伝えたいという気持ち
があれば国境を越えても通じ
るんだな」と実感しました。

今後、この事業で学んだ台湾
の歴史や伝統、食文化等をこ
の研修に参加していない人た
ちにも伝えていきたいと思ひ
ます。

さらに、この経験を活かし、
これからの日本と台湾の関
係をより良くしていきたい
です。

最後に、この研修に参加して
学んだことや経験したこと等
を忘れないようにしたいです。



石垣 貴也
(2 - C)

僕はこの少年のつばさ事業を
終えて、学習したことがいく
つかあります。

その中の1つは、言語の壁
です。言語の壁はそこまで高
くはありませんでした。でも
会話を弾ませたいならやはり
英語を身に付けなければなり
ません。実際海外に研修等に
いくと現地の人と友達にな
ったりすることがあり、聞き
たいことがあっても英語じゃ
ないと通じないので、これ
からもっと英語を勉強して
いきたいです。台湾で学んだ
ことは今後どのような場所
で役立つかはわからないけれ
ど、今後そのような機会が
あれば役立てたいと思ひ
ます。



小林 翔太
(2 - C)



佐久間 生幸
(2 - C)

自分はこの事業を終え、た
くさん学んだことがあります。

まず1つ目は、英語はとて
も重要であるということです。
何故そう思ったかという
と、敦化中学生との交流を
経て実感できました。そ
して2つ目は、人に感謝
をすることです。自分は
あまり親の元を離れて生活
するということとはなかつ
たのですが、この5泊6日
という長い間で親のありが
たみというのがとても分
かりました。そして、親
の他にも引率して下さ
った先生方、そしてため
になる体験をさせてくれ
た美浦村への感謝を忘れ
ずに、事業で培ったこと
を活かして生活してい
きたいです。

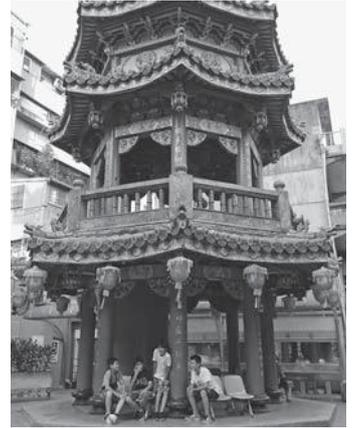


橋本 梨菜
(2 - C)

私は台湾に行き、楽し
かったこと、学んだこと
が1つずつあります。

まず楽しかったことは、
敦化中の生徒との交流
です。英語や台湾語も
ままならないまま向
こうに行きましたが、
ジェスチャーや簡単
な英語を使うまく
コミュニケーション
をとることができ
ました。

次に、学んだことは
国際人としての生き方
です。初めての入国
審査や初めてのパス
ポートを持っての
旅行、文化の違い
に触れあう等た
くさんの慣れない
ことばかりでは
したが、実際に
海外に行くこ
とで国際人とし
ての生き方を
学ぶことが
できました。



私は台湾研修に行って、様々なことを学びました。中でも特に印象に残っていることは、敦化中の生徒との交流活動です。

日本と台湾では言語が異なるので、最初は話すのが困難でしたが、一緒に過ごすにつれて、ジェスチャーや共通語の英語を使いながら、話すことができました。そこから敦化中の生徒たちとだんだん仲良くなり、1日目の夜ご飯のときにはみんなで笑ったり、楽しむことができて本当に良かったです。今回の交流活動で、心が通じ合えば仲良くなれるということが学びました。この経験を今後の生活に活かしていきたいです。



谷畑 美羽 (2-C)

私は、今回の少年のつばさ事業に参加させていただき、たくさんの貴重な経験をすることができました。

中でも敦化中の生徒との交流では、お互いの使う言葉が違ってても、共通語の英語とボディラングージでコミュニケーションをとることができました。人見知りなところがある私にとって、初対面の敦化中学生の前で英語やボディラングージを使うことは勇気のいる行動でした。

文化の違う異国の中学生との交流は、小さな勇気とお互いを理解し合おうとする気持ちを持つことで、心が通じ合う素敵な体験となりました。



木村 みさと (2-D)



来栖 真央 (2-D)

私は敦化中学校と2日間の交流をして、英語での会話の楽しさを知りました。

最初は緊張して正しい発音でしゃべることができませんでしたが、敦化中学生の英語を聞いているうちに通じるようになりました。言葉だけでなく心もだんだん通じてきました。個人的にも連絡先を交換したり、プレゼントももらいました。とても絆が深まったと思います。次は、日本に来てもらい日本の文化を伝えたり日本の名所に一緒に行きたいです。そして、日本の良さを知ってもらい、台湾の人に紹介してもらえたら嬉しいです。



寺田 ひの (2-D)

6日間の台湾研修で、色々なことを学んできました。特に印象に残っていることは、敦化中学校の生徒との交流です。

敦化中は、弦楽器による演奏で私たちを歓迎してくれました。最初は、緊張してうまく会話をすることができませんでしたが、ジェスチャーや自分が分かる限りの英語を使って、積極的に話すようになりました。結果、敦化中の生徒と仲良くなることができました。2日間という短い時間の中での交流でしたが、色々な体験を通して、お互いに歩み寄っていけば国境を越えた友情を築いていけることを知りました。



核兵器なき世界の実現に向けて 伝えよう平和の尊さを

～広島平和記念式典に参列



広島・長崎に原爆が投下されて72年が経ちました。広島平和記念公園には様々な年齢・国籍の方々が訪れ、平和への祈りを捧げました。

被爆者の方たちの高齢化により、戦争体験者の生の声を聴く機会は、今後ますます少なくなっていくことでしょう。これからは戦争を知らない世代が学び、考え、次の世代に語り継いでいかなければなりません。

村では、昭和63年に「非核平和美浦村宣言」を行い、戦争の悲惨さと平和の尊さを次代へ語り継ぐための活動を続けています。今年もその一環として、小学生親子3組と非核平和美浦村宣言推進協議会代表、村議会議員代表、教職員代表等の計11名が、広島市の原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式（平和記念式典）に参列しました。

ここでは、参加者が広島派遣を通して感じた、平和への思いを語って頂きました。《敬称略》



『げんしばくだんがおちるとひるがよるになって人はおばけになる』これは被爆当時に、小学3年生の女の子が書いた詩です。ピカッと光り熱で上昇気流が発生し、土砂等が舞い上がって暗くなり、人や動物等あらゆる物が数千度の熱で焼き溶かされた状況を書いたものです。皆さんも想像してみてください。今回、議会代表として事業に参加させて頂きましたが、式典への参列、資料館の見学や被爆体験講話の拝聴を通し、改めて被爆国日本は核兵器廃絶に向け、国内外に対し最大の努力をすべきであると思いました。特に、国連で制定された核兵器禁止条約には積極的に署名すべきであると感じました。《美浦村議会議員 下村 宏》



今回、初めて広島平和記念式典に参加する機会をいただき、核兵器廃絶という言葉の重さを改めて実感することができました。72年前の8月6日に広島で何が起きたのか、今なお苦しみの中で生活している被爆者の方々の講話、当時の子供たちの詩の朗読をお聞きし、その思いに少しでも近づくことができたことは有意義な体験となりました。広島の街は外国の方々の姿も大変多く、被爆体験講話にも多数参加されていたことも印象的でした。

事実を知り二度とこのようなことを起こしてはならないという決意を人間として持ち続けたいと思います。《大谷小学校校長 小林 知永》



まずは、非核平和美浦村宣言推進協議会代表として広島平和記念式典派遣事業に参加させて頂き、貴重な体験をすることができたことに感謝いたします。

私が今回特に印象に残ったことは、被爆体験講話および被爆体験記朗読会に出席して、被爆者の生の声を聞いたり、被爆者が書いた詩の朗読を聞いたことにより、原爆による地獄のような悲惨さ、そして、想像を絶する苦しみを少しでも理解できたことです。核兵器のない平和な世界を発信し続ける被爆者の方々の思いを真剣に受け止め、私は広島での体験を身近な人々に広めていきたいと考えます。
《美浦村区長会会長 殿岡 勝夫》



私は初めて広島に行き、いろいろ勉強することができました。
たった一発の原子爆弾で、建物はつぶされ、人々はひどいやけどをあい、約16万6千人が2～4カ月以内で死亡してしまいました。『人々は水を求めて川へ行くが、そこは、熱くて川へ飛びこみ死亡してしまった人たちの死体でうめつくされていた』このような悲しい出来事が72年前にあったと思うと、少しこわいです。私は原爆くを経験したことはありませんが、どれだけひさなことだったかは分かりました。なので、この世界から核兵器がなくなってほしいと思いました。
《安中小学校6年 貝塚 千恵実》



平和記念資料館では、たくさんの遺品や写真、体験記などを見ることができました。
72年前の8月6日に、たくさんの親が、大切な子供を失い、たくさんの子供が親を失った。そのことを思うだけで、涙が止まりませんでした。亡くなった子供の焼け焦げた服を、自分が亡くなるまで、大切に手元に置いておいた母親の悲しみは、どれほどだったかと心が痛みました。
唯一の被爆国として、核兵器の非人道性と、核兵器廃絶を、もっと訴えていってほしいと思います。
《安中小学校保護者 貝塚 眞澄》



72年前の8月6日8時15分に、世界で最も非情な物である核爆弾が広島に落とされた。この事実は知っていたが理由までは知らなかった。今回の体験でまず、核爆弾は日本とアメリカが戦争をしていたときにアメリカが落としていたと分かった。そして、その核爆弾は地上から600m上空で爆発した。しかしその距離があっても半径2kmを消しさった。この事を聞いた時はびっくりした。600mも離れているのに半径2kmを消しさるのかと。この事をなかったことにすることは出来ない。私達が出来ることは、この事実を確実に伝えていくことである。
《大谷小学校6年 浅見 拓飛》



この度、広島平和記念式典参列という貴重な体験をする機会を頂き、誠にありがとうございました。戦争・平和・被爆・追悼等々、72年前に起きた惨劇と、その後の歳月を自分の記憶にも改めて焼き付けた3日間でした。決して遠い昔の出来事ではなく、まだまだ元気になっている、私たちの両親、祖父母の世代の方々が見てきた、経験してきた「戦争」。この惨劇が人々の記憶から消えないように、これからの世代の人々に伝え続け、世界平和を呼びかけていく事が、今を平和に過ごしている私達がしていくべきことではないかと、強く感じました。
《大谷小学校保護者 浅見 圭子》



ぼくは、今まで戦争というものは昔の出来事としか考えていっていませんでしたが、初めて広島に行き広島平和記念式典に参加して、戦争を身近に感じ、考えることができました。
まず、原爆ドームを見たとき、恐ろしくとても悲しい気持ちになりました。
そして、おどろいた事は、アメリカが核兵器を落とした理由です。ぼくは、アメリカが確実に勝つために落としたと思っていました。ですが、早く日本に戦争をやめさせたいためでした。ですが、どんな理由でも核兵器はだめです。これからも広島の悲劇を多くの人に伝えていきたいです。
《木原小学校6年 野口 真拓》



一発の原爆で、一瞬の間に数キロが焼け野原になってしまうという核兵器の恐ろしさを知りました。核保有国は「核兵器なき世界」に取り組んで更に前進させなければなりません。戦争を知らない若い世代は、この悲惨な過去を風化させない様、語り継がなければならないと思いました。被爆体験講話では、被爆者だけにしか分からない話を聞き、非常に胸が熱くなる思いになりました。今も、後遺症に苦しんでいる人が何人もいると思うと胸が痛みます。被爆者の証言を聞き、きのこ雲の下で何が起こったかを知り、核兵器廃絶への願いを受け止め世界中に「共感」の輪を広めていただきたい。
《木原小学校保護者 野口 保夫》

むらの 話 題



地域の話題をお待ちしています
 ©総務課・広報係
 ☎029-885-0340内線205

平成29年度美浦村防災訓練を 実施しました！



7月23日、木原小学校において平成29年度美浦村防災訓練が行われました。木原小学校区を重点対象地区として実施した今回の訓練には198名の方が参加をされ住民の方々の防災意識の高さを感じることができました。

今回の訓練では、応急処置訓練や展示、段ボール製簡易ベッドの組立を行う避難所設営体験、国土交通省所有の降雨体験車による豪雨体験、自然災害体験車による土石流体験等が行われました。体験訓練を終えた後は、いなほ消防署による人命救助活動の実演が披露されました。

かけがえのない生命・財産を災害から守る防災対策は、おろそかにできない重要な施策です。来年度も継続して実施する予定です。その際はぜひご参加ください。

美浦村建設業協会が 草刈りボランティア実施



8月4日、美浦村建設業協会(栗山秀樹会長)では、村役場庁舎脇の国道125号バイパス陸橋付近の草刈を行いました。

当日は未明に降った雨により足場が悪い中で、同協会に所属している事業者から17社総勢41名の方が参加され、バイパス進入路脇の急斜面や陸橋付近の擁護壁の生垣等、除草作業が難しい場所の雑草をきれいに刈り取っていただきました。大変お疲れ様でした。



鹿島アントラーズFC 「美浦の日」開催！

8月5日、県立カシマサッカースタジアムにおいて鹿島アントラーズFCフレンドリータウンデイズ「美浦の日」が開催されました。当日は、美浦村在住・在勤・在学の方は、この日行われるベガルタ仙台戦を招待または優待価格で観戦することができ、たくさんの方が来場しました。

試合開始前のイベントには、みほーすやJRAのイメージキャラクターであるターフィーが登場し会場を盛り上げ、それに応えるように試合でも鹿島アントラーズが2対0で勝利をおさめました。

フリーダムSC 県大会で好成績



7月23日、フリーダムサッカークラブが鉾田市総合運動公園にて第44回茨城県少年別少年サッカー大会の決勝トーナメント(低学年の部)に出場しました。

1次リーグ、2次リーグの接戦を制して決勝トーナメントに進んだフリーダムサッカークラブは、鹿島アントラーズつくばジュニアには惜敗したものの、ホーリーホックジュニアとの試合では引き分けに持ち込む等、強豪相手に一歩も引けを取らず、県ベスト8という好成績をおさめました。

◇フリーダムSCはサッカー好きの仲間を歓迎します。※年中、小学4年生まで(代表・中根)

☎09001407417799

地域を花いっぱい！ ～花いっぱい運動コンクール～



老人クラブや地区等、18団体の参加を得て実施された「第18回美浦村花いっぱい運動コンクール」の表彰式が7月21日に行われました。

各団体が手塩にかけて育てた花壇はどれも素晴らしい出来栄でしたが、厳正な審査の結果、以下のとおり各賞が決定しました。

なお、村長賞、議長賞受賞団体は、大好きいばらき県民会議等主催の「第45回花と緑の環境美化コンクール」へ推薦されました。

【コンクール結果】(順不同)

- 村長賞 山王福寿会
- 議長賞 馬見山花の会
- 教育長賞 フラワーガーデン大山
- 区長会長賞 土浦老人クラブ
- 厚生文教委員長賞 上舟子アモーレクラブ
- 総務部長賞 大須賀津神明クラブ
- 努力賞 牛込根本太陽クラブ、茂呂地区、信太みどりの会、下舟子老人クラブ、美浦村花見塚福寿会

美浦村子ども議会を開催



7月24日、第2回美浦村子ども議会が開催され、美浦中学校の2・3年生20名が子ども議員や議会事務局長となり一般質問を行いました。

本物の議場で村議会の特色であるタブレット端末を利用し、堂々とした態度で議会に臨んだ生徒たちは、みんな口をそろえ「今後のためのいい経験になりました」と語ってくれました。

須崎氏 日本水彩展 で入選



公益財団法人日本水彩画会が東京都美術館で開催する日本水彩展において、美浦朱青会に所属する須崎敏之さんの作品が入選しました。

須崎さんが用いるのは透明水彩絵具を使って描く透明水彩画というもので、作品名は「戦後70年正午」。戦後に帰って来れなかった人や黙とうの時の一瞬の静けさを、鎮魂の思いで描いた作品だそうです。この度は入選おめでとうございます。

みほ文芸

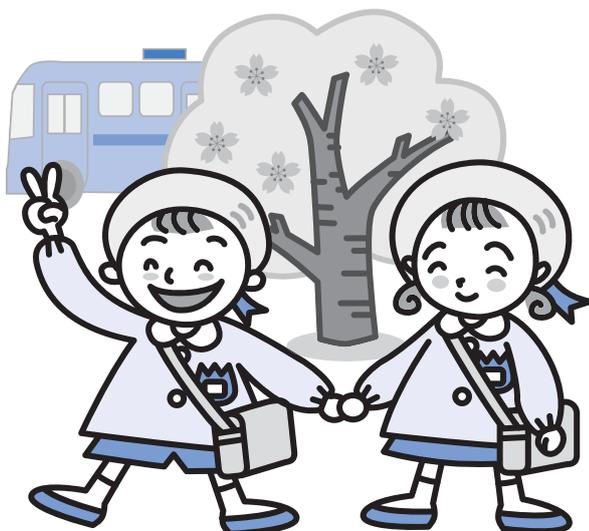
正調俚謡 日和吟社 題「真・愛」一字以上詠み込み有季無季随意

- 歡喜あふれる真夏の夢にかける球児の地区予選
 はずむあなた笑顔が浮かぶ愛が伝わる電話口
 母の手料理昔のまま愛が薬味の五つ星
 豪雨災害寄り添いながら尽くす真心ボランティア
 愛の溢れた記憶を胸に辛さ乗り切る介護妻
 一人暮らしに終止符打って愛のデュエットこだまする
 うまい味噌汁四十余年妻の味知る愛を知る
 祈り続けた七十二年愛と平和の鐘が鳴る
 何が真実か嘘との違い区別できない世の乱れ
 共に古希越え老い行く道も互い支える夫婦愛
 愛は不滅と信じた頃を思い出しては見る鏡
 強い白鵬前人未踏国技盛り上げ相撲愛
 子供元気で真っ直ぐ育つ忘れまいぞよ父母の愛
 甘え我が儘大きな愛で包み支えてくれた母
 泣くも笑うもすべてが可愛い愛をたっぷり受け育つ
 親を困らせ育った孫娘も吾子が愛しと母乳をやる
 白のコットン夏服決まり真夏日傘の涼し影
 八月の俳句(題 当季雑詠)
 上鰻重たまの奢りや小さき旅
 来なされや美浦の空には柿花火
 風も無く暑さ増す増す蝉時雨
 病妻を労る夫の玉の汗
 学童の声の列なす夏帽子
 冷酒酌む旅の一夜の国訛
 門火焚く早馬で来し父と母
 遠き日よ法被の君の祭笛
 忘却を消せぬ亡娘に盆火たく
 迷いつつえらぶ盆棚好きな花
 手の平に包み弾けし鳳仙花
 八月や名画に潤む「ホテルの臺」
- 高橋一步
 長谷川悦子
 塚本夏雲
 上野八千代
 田島草実
 門脇悠美
 飯塚筑風
 石戸葎華
 小蘭江久美
 伊藤葉子
 山口壱路
 沼寄朋香
 武田かずお
 小池きよし
 木村幸子
 山崎笑子
 関根秀子
 (五十音順)
 青野安佐子
 石毛恵美子
 海道民子
 木澤はしめ
 高柳幸子
 田島早苗
 中島輝子
 長田敏笑
 松葉よしの
 松本秀子
 宮崎きみ枝
 矢原はつひ

平成30年度

幼稚園

・保育所入所案内



幼稚園は、小学校入学前のお子さんの「教育施設」であり、これに対して保育所は、乳幼児を保護者に代わって預かる「児童福祉施設」です。

ここでは、来年度における村立の幼稚園と保育所の入園・入所についてご案内します。入園・入所対象児のいるご家庭は、お子さんや家庭の状況、教育方針等から、幼稚園・保育所のご利用またはご家庭での保育等、お子さんにとってより良い保育を選択してください。

申込み方法

● 美浦幼稚園

◇申請方法 美浦幼稚園で随時配布している入園申請書に必要事項をご記入のうえ、受付期間内に美浦幼稚園へ直接お持ちください。郵送による申し込みは受け付けできません。

* 3歳児対象世帯には、9月上旬に入園案内と入園申請書をお送りします。

◇申請受付 10月11日(水)～20日(金) *土・日曜日を除きます。

◇受付時間 午前8時30分～午後4時30分

《入園の決定方法》

▶ 3歳児 申し込みが定員を超えた場合は、抽選を行います。抽選を行う場合の日時や抽選方法等については、美浦幼稚園から後日お知らせします。

▶ 4・5歳児 申し込みは、定員になり次第受付を締め切らせていただきます。

* 申し込みが定員に満たない場合は、受付期間終了後も随時申請を受け付けていますので、美浦幼稚園にお問い合わせください。

※ 受付期間中の午前10時～正午は、園の様子を見学することができます。

● 大谷・木原保育所

教育委員会子育て支援課(村役場庁舎2階)、子育て支援センター(みほふれ愛プラザ内)において、10月4日(水)から申請書および入所を希望する乳幼児の家庭状況に応じた各種証明用紙をお渡しします。用紙を受け取る際には、ご家庭およびお父さまの状況が分かる方がご来庁ください。

なお、入所申請の受付日程や場所等、詳細については広報みほ10月号でお知らせします。

***** お問い合わせ先 *****

□ 美浦幼稚園の入園手続き 美浦幼稚園(大谷1059) ☎029-885-4334

□ 大谷・木原保育所の入所手続き 村教育委員会子育て支援課(村役場庁舎2階) ☎029-885-0340(内線)232

美 浦 幼 稚 園

〔平成29年8月現在〕

《入園対象児》 村内在住で入園を希望する幼児

《定 員》

- ・ 3歳児（H26.4.2～H27.4.1生まれ）定員60名（3クラス） 募集人数60名
- ・ 4歳児（H25.4.2～H26.4.1生まれ）定員70名（2クラス） 募集人数29名
- ・ 5歳児（H24.4.2～H25.4.1生まれ）定員70名（2クラス） 募集人数20名

* 3歳児は定員を超えた場合は**抽選**となり、4・5歳児は定員になり次第**締切**となります。

《保育日数》 約200日（休日…土・日曜日、祝祭日、夏季・冬季・春季休業日、創立記念日）

《目標と特色》

一人ひとりを大切にし、社会力や基本的な生活習慣の定着を図ると共に、自然との触れ合いを増進することでより良い感性を育成していきます。特に、挨拶の励行、集団行動のあり方、体力の育成、言葉・文字への親しみの育成、想像性・創造性の育成を目指します。また、社会力のある園児の育成ができるよう、家庭や地域との連携を深め、PTAサークル活動や家庭教育学級を通して積極的に保護者の参加を促すことにより、開かれた園を目指します。

《保育時間および保育内容》

7:30 ~ 預かり保育（希望者のみ実施）	12:00 ~ 昼食
8:30 ~ 登園、保育	14:00 降園
* 健康・環境・言葉・人間関係・表現 について、いろいろな活動を通し、 年齢別に総合的に指導していきます。	
18:00まで預かり保育（希望者のみ実施）	

《給 食》 水・木・金曜日給食（月・火曜日は弁当持参） 年額 44,000円

《保育料》

- ・ 幼児の父母の市町村民税所得割額を合算した額により決定します。祖父母等と同居している場合は、祖父母等の住民税所得割額を合算する場合があります。
- ・ 同利用者負担額の階層区分により、兄弟姉妹がいる場合やひとり親等の世帯に該当する場合は、市町村民税課税額によって段階的に軽減措置があります。詳しくは村ホームページをご覧ください。

大 谷 保 育 所 ・ 木 原 保 育 所

〔平成29年8月現在〕

《入所対象児》

入所申し込みをする児童の保護者が次のいずれかに該当する児童

- ▶月に60時間を超える就労 ▶育児休暇取得時にすでに保育を利用している子がいて継続利用が必要
- ▶妊娠・出産 ▶保護者の疾病・障がい ▶同居親族等の介護・看護 ▶虐待・DVのおそれがある
- ▶就学 ▶災害復旧 ▶その他、前各号に類している状態として村が認める場合

《定 員》 大谷保育所…120名 木原保育所…80名

《保育日数》 約290日（休日…日曜日、祝祭日、年末年始）

《目標と特色》

「がんばる子・元気よく遊べる子」を子ども像に掲げ、素直でのびのびとした豊かな感性、溢れる意欲と体力、仲間を思いやる心を育てながら、基本的な生活習慣を身につけ望ましい人間形成を目指します。

《保育時間および保育内容》 *土曜日は希望保育（8:00～17:30）

7:30 ~ 早朝保育	11:30 ~ 昼食
8:30 ~ 登所、保育	13:00 ~ 昼寝
* 健康・環境・言葉・人間関係・表現 について、いろいろな活動を通し、 年齢別に総合的に指導していきます。	
15:00 ~ おやつ	
16:00 降所	
18:30まで夕方保育	

《給 食》 ▶ 3歳児以上…副食のみ（主食は持参）、おやつ ▶ 3歳児未満…完全給食

《保育料》

- ・ 児童の父母の市町村民税所得割額を合算した額により決定します。祖父母等と同居している場合は、祖父母等の住民税所得割額を合算する場合があります。
- ・ 同利用者負担額の階層区分により、兄弟姉妹がいる場合やひとり親等の世帯に該当する場合は、市町村民税課税額によって段階的に軽減措置があります。詳しくは村ホームページをご覧ください。

暮らしサポート



消費生活に関する
問合せ・相談は消費
生活センターへ

食の安心安全調理実習

食生活改善推進員さんを講師にお迎えして、食の安心安全について学ぼう！

メニュー

さばのトマトソース
添えと豆乳のクラム
チャウダー他

◇日時 10月3日(火)午前9時45分集合

◇場所 保健センター調理室

◇参加費 300円

◇募集人員 10名

◇申込方法 9月22日(金)までに美浦村消費生活センターにお申込みください。

美浦村消費生活センターでは、消費者美浦やまゆり会、

食生活改善推進員、地元の方々等の協力により、食の安心安全調理実習を行っております。今後、味噌・こんにゃく・スイーツ作りなども企画しております。広報でお知らせしますので、ぜひご参加下さい。

海外リゾート会員権

「タイムシェア」
契約は慎重に！

空港でハワイ旅行が当たるという抽選をしたところ、「高級ホテルの『タイムシェア』の説明会に参加すると1万円の商品券がもらえる」と言われ、1カ月後に出向いた。「ハワイのホテルの1室についてタイムシェアの契約をすれば隔年で1週間利用できる。今日契約すれば代金を割引し、10万円分のポイントも付ける」と3時間半も勧誘されたが、仕組みはよく理解できなかった。時間が欲しいと言ったが、執ように今日決めるように言われ、日本語や英語の契約書にサインしてしまった。(当事者…60歳代男性)

【ひとこと助言】

年に数回程度、海外のホテル等のリゾート施設の1室を利用できる海外不動産所有権付きリゾート会員権「タイムシェア」に関して、高額な管理費がかかることが後で分かった、旅行シーズンには予約が取れないといった相談が寄せられています。

旅行の高揚感やその場の雰囲気にもまれて契約してしまうケースもあります。執ような勧誘を受けてもセールストークをうのみにせず、支払総額や利用状況、解約条件や方法について、契約前によく確認しましょう。

金券や食事券等の特典を提示されても安易に説明会に参加しないことも大切です。(国民生活センター見守り新鮮情報より抜粋)

宅配ボックスで遊んでいたら

閉じ込められた

▼事例1

友人とかくれんぼをしていて、マンションのエントランスに設置されている宅配ボックスに隠れた。その後、何らかの原

因で宅配ボックスの鍵がかかり、出られなくなりました。(当事者…7歳男児)

▼事例2

兄と自宅マンション内の宅配ボックスで遊んでおり、扉を閉めた際、自動的に鍵がかかってしまい出られなくなりました。(当事者…5歳男児)

【ひとこと助言】

集合住宅等の宅配ボックスで遊んでいた子どもが閉じ込められる事故が報告されています。

宅配ボックスは人目に付きにくい所に設置されている場合があり、長時間見つからずに放置されるおそれがあります。特に、気温が上昇する夏に閉じ込められると、熱中症等の重大事故に発展することも考えられ、危険です。

子どもには、事故の危険性を教えるとともに、宅配ボックスで遊ばないよう注意しておきましょう。

(国民生活センター子どもサポート情報より抜粋)

消費生活に関する相談は

◇村消費生活センター(消費生活相談全般)…役場1階西側(収納課奥)

月・水・木・金 午前9時～正午、午後1時～4時 ☎029-885-7141(直通)

(相談の受付は、午前は11時30分、午後は3時30分まで。また、都合により相談員が不在の場合がありますので、電話でご確認ください)

◇消費者ホットライン(全国共通ダイヤル) ☎188 ※局番なし。3桁で繋がります。

◇県警悪質商法110番(訪問販売等の商取引や悪質金融業者に絡む各種相談)

午前8時30分～午後5時15分 ☎029-301-7379



男女がともに 輝くために

共に輝くみほの会
(美浦村女性行政推進協議会)

□お問合せ 役場企画財政課
☎029-885-0340 内線208

男女共同参画ネット ワークショップに参加して

篠田 京子

6月13日、茨城県女性プラザと県西生涯学習センター共催の講座「持続可能な家族の条件〜共に生きる新たな関係の構築を目指して〜」に参加してきました。

茨城大学教育学部・佐藤裕紀子准教授のご講話から、たくさんのご話を学ぶことができました。ご自身の体験で、ひとりっ子である母が病気をし、祖母を介護するうちに婚期が遅れ、出産時には40代になっていたとお話くださいました。今も社会では、女性活躍といながらも、働きながら子育てや介護をできる環境が整備されていない状況です。

2003年には、急速な少子化の進展に対処するため、少子化社会対策基本法が制定されました。いよいよ国が介入して人口を回復させる方策になったということです。

また、詳細なデータで家族の形がイメージと違って見えてきました。高齢者の自殺が多く、理由は家族に迷惑をかけたくないというもので、まだまだ介護が家族の負担になっているというのが現状です。また、イクメンの家事負担は定年退職した夫より少ない。しかし、感謝の気持ちや伝えることで、妻の満足度が上がるのだそうです。

持続できる家族の条件は、家族一人一人が互いにマネジメントでき、男女ともに仕事も家事も柔軟にできる社会にあるとの事でした。

◆我が家の持続可能な条件◆

末っ子の交通事故は7歳のやんちゃ盛りでした。後遺障がいのため車いす生活ですが、今年29歳になりました。家族や友人の協力を得ながら、私も末っ子も、仕事に地域活動に挑戦の日々です。

昨年の5月、夫が脳内出血

で倒れ入院。幸い倒れたところが病院の中で、速やかな治療のおかげで、3カ月余りで退院しました。まだリハビリ中ですが、家での家事がリハビリになっていくようです。

我が家を持続可能にするのは、自身の健康管理と社会とのつながりだと思っています。「自分自身の生き方や行動が地域の未来や地球の未来に密接につながっている」という恩師池田先生の言葉は希望であり支えになります。また、身近な友人や遠く離れた親戚・同級生は、そこにおいてくれるだけで私の力になっていくということを再確認できました。

男女共同参画社会について 一緒に学んでみませんか？

美浦村女性行政推進協議会（共に輝くみほの会）では、活動を共にできる会員を募集しています。(男性の入会も可)

□お問合せ 役場企画財政課

木造住宅の耐震診断

申込は9月29日(金)まで!

皆様のお住まいと生命を守るため、「耐震診断士」を派遣します!



- ▶ **申込方法** 申請書（役場都市建設課窓口または村ホームページに掲載）に必要事項を記入のうえ、役場都市建設課までご提出ください。
- ▶ **対象住宅** ①昭和56年5月31日以前に着工されたもの、②一戸建ての木造住宅または店舗等併用住宅（住宅部分の床面積が全床面積の2分の1以上のもの）で、どちらも延べ床面積30㎡以上のもの
- ▶ **診断費用** 一戸当たり2,000円※個人負担分
- ▶ **申込期限** 平成29年9月29日(金)
※診断の実施は平成29年11月頃に開始する予定。
- ▶ **申込・問合せ** 役場都市建設課 ☎029-885-0340 (内線222・223)

美浦村を全国にPRしたい!

ゆるキャラ®グランプリに みほ一す参戦中!

投票開始からおよそ1カ月。みなさんの応援のおかげで、みほ一すは110~120位につけています。(参加ご当地キャラクター1,154体)あと少しで100位以内!ますます頑張ってくださいますので、応援よろしくお願いたします。



みほ一すの
投票ページ

ゆるキャラグランプリ

検索

※投票無料。
初回に登録が必要です。

11月10日(金)午後6時まで1日1票投票できます

問合せ 企画財政課 ☎029-885-0340 (内線208)



生活環境

お問合せ
生活環境課
☎029-885-0340
(内)214・215

9月24日(日)・10月1日(日)に 粗大ごみを収集します

各家庭で出た粗大ごみ(事業系ごみ、産廃等は除く)を収集します。搬出できる粗大ごみの種類等、詳細については9月配付の回覧をご覧ください。役場生活環境課までお問い合わせください。

- ◇**収集日時** 9月24日(日)、10月1日(日) 両日とも午前8時30分～正午、午後1時～3時
- ◇**収集場所** 美浦水処理センター(美浦村興津969)
- *会場へ入るときは、一部規制を行います。係員の指示に従ってください。

《有料で自宅回収します》

粗大ごみを運搬する手段が無くお困りの場合は、有料で自宅まで収集に伺います。その際に、解体作業が必要な場合は、別途料金がかかります。自宅収集は事前申し込みとなります。

- ◇**回収期間** 9月25日(月)～29日(金)
- ◇**受付期間** 9月11日(月)～19日(火)
- ◇**料金内訳** 車両1台につき運搬費4,000円、解体費3,000円
- ◇**申込・問合せ** 美浦村シルバー人材センター☎029-886-0007

今回の収集日以外でも、江戸崎地方衛生土木組合では年間を通して粗大ごみを持ち込むことが可能です。是非ご利用ください。(100kgまで無料)
▶江戸崎地方衛生土木組合(稲敷市高田424)☎029-892-2841



自衛官等募集案内

◎防衛大学校学生(一般)前期

受験資格	高卒(見込み含む)の資格を有する21歳未満の者
試験期日	1次:11月4日・5日 2次:12月5日から9日のうち指定された日

◎防衛医科大学校(医学科学生)

受験資格	高卒(見込み含む)の資格を有する21歳未満の者
試験期日	1次:10月28日・29日 2次:12月13日から15日のうち指定された日

◎防衛医科大学校(看護学科学生)

受験資格	高卒(見込み含む)の資格を有する21歳未満の者
試験期日	1次:10月14日 2次:11月25日から26日のうち指定された日

【募集共通事項】受付期間:9月5日～9月29日(締切日必着)※試験場所は各人に通知します。



平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集

自衛官候補生の受付は年間を通じて実施しています。その他、急遽募集内容等が変更になる場合があります。詳細については下記の事務所までお問い合わせください。

☎**問合せ** 自衛隊茨城地方協力本部
龍ヶ崎地域事務所(龍ヶ崎市寺後3629-5)☎0297-64-3351

*自衛隊茨城地方協力本部ホームページにも募集情報を掲載しています。(http://www.mod.go.jp/pco/ibaraki/)

介護保険

お問合せ
福祉介護課介護保険係
☎ 029-885-0340
(内線)113・132・135

認知症を予防しましょう

～9月は「茨城県認知症を知る月間」です～

認知症は、老化現象ではなく誰にでも起こりうる脳の病気です。
大きな原因は「脳細胞の減少」「脳機能の低下」です。



思い当たる「物忘れ」の症状をチェックしてみましょう

記憶	同じことを何度も話したり、同じものを何度も買ってくるようになった。	
意欲	なんとなく元気がなかったり、興味や関心を示さなくなった。	
実行	今までできていたことができなくなった。慣れた道具の使い方がわからなくなった。	
不穏	些細なことで怒ったり、不安を抱くようになった。	

認知症を予防し発症を遅らせる生活改善

有酸素運動をしましょう ウォーキングやサイクリング等の有酸素運動を行うと脳の血流が増し、脳の血管の老化を遅らせます。	野菜や果物を食べましょう 野菜や果物に含まれるビタミンC、E、βカロチンの抗酸化作用が認知症に効果があると考えられています。
青背の魚を積極的に食べましょう サバ、イワシ、アジ等に多く含まれている不飽和脂肪酸には、脳の神経伝達と血流をよくする働きがあります。	人とふれあいましょ 色々な人と話したり活動とともにしたりするだけで記憶力、計画力などを鍛えてくれます。

認知症サポーター養成講座(出前講座を行っています)

認知症サポーターは、何か特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者です。受講料は無料で、修了者には認知症サポーターの目印であるオレンジリングをお渡しします。また、ご希望の会場で講座を行いますので、受講を希望される方または団体は、役場福祉介護課内の地域包括支援センター☎029-885-0340(内線135)までご連絡ください。

やまゆり運動教室参加者募集

(一般介護予防事業/10~12月コース)

いつまでも元気に過ごしていけるよう、介護予防を目的とした教室です。

- ◇日時 毎週水・金曜日(週2回)、午後1時30分～3時30分※原則3カ月
- ◇会場 美浦村デイサービスセンター
- ◇内容 個人の体力に合わせ、トレーニングマシンを用いた筋力トレーニング
- ◇対象者 村内在住の65歳以上で、医師の指示による運動制限がない方
- ◇定員・費用 8名程度(先着)・1回200円
- ◇申込・問合せ 地域包括支援センター(役場福祉介護課内)☎029-885-0340(内線135)

要約筆記入門講座の受講生募集

耳の不自由な方とコミュニケーションを図るため、言葉を文字にして伝える方法を学ぶ講座です。

- ◇日時 10月11日、18日、25日、11月1日、8日(全5回)、午前10時～正午
- ◇会場・受講料 土浦市総合福祉会館(ウララビル2・4階)・無料(教材費は自己負担)
- ◇対象者・定員 村内在住もしくはは在勤、在学の方2名※定員を超えた場合は抽選
- ◇申込方法 往復はがきに住所・氏名・生年月日・電話番号を記入のうえ、お申込みください。9月29日(金)必着。
- ◇申込・問合せ先 役場福祉介護課☎029-885-0340(内線111)



インフルエンザ 予防接種費用の一部を助成します

インフルエンザの重症化やまん延を予防するため、村では高齢者と中学3年生までのお子さんの接種費用の一部を助成します。

◇助成の対象となる接種期間
平成29年10月1日(日)～平成30年1月31日(水)まで

中学3年生までのお子さん

お子さんのインフルエンザ予防接種は任意です。効果・副反応をよく理解し、保護者の判断で接種してください。

◇対象者 村内在住の生後6カ月～中学3年生までの方

◇助成額 生後6カ月～13歳未満の方

：1回1000円(2回まで)
・13歳以上中学3年生までの方：1回のみ1000円

◇接種方法

▼協力医療機関で接種

保健センターで予防接種を受け取り、医療機関に電話予約のうえ、予防接種と母子手帳を持参して接種を受けます。接種料金が助成額を超える場合は、助成額との差額は自己負担となります。
*予防接種は9月25日(月)から交付を開始します。

▼協力医療機関以外で接種

予防接種を受け、接種費用の全額を支払った後、村に助成額の払い戻しの申請をしてください。申請方法は村ホームページをご覧ください。どうか保健センターへお問い合わせください。
※お子さんのインフルエンザ予防接種協力医療機関は、村ホームページでご確認ください。

65歳以上の方

65歳以上の方のインフルエンザ予防接種は、予防接種法に基づく定期接種です。対象者には、9月下旬頃に個別に通知します。接種に関する詳細は、通知でご確認ください。

細は、通知でご確認ください。
*11月、12月、平成30年1月に満65歳を迎える方には、誕生月の初旬に通知します。

◇対象者

次のうち予防接種を希望する村内在住の方
・満65歳以上の方
・60歳～65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある方(身体障害者手帳1級)

◇助成額

2000円(1回接種分のみ)

10月の乳幼児健診

《受付》午後1時～1時45分

- ・4カ月児健診 10月30日(月)
対象：平成29年6月生
- ・1歳6カ月児健診 10月2日(月)
対象：平成28年2月～3月生
- ・2歳児歯科健診 10月3日(火)
対象：平成27年8月～9月生



筋力アップ教室(運動教室) 参加者募集

◇内容

健康運動指導士によるミニ健康講座、筋力トレーニング、ストレッチ

◇日程

全7回・10月23日、30日、11月6日、20日、27日、12月4日、11日(全て月曜日)

◇時間

午前9時30分～血圧測定、午前10時～11時30分運動

◇会場

美浦村保健センター

◇対象者

村内在住のおおむね40歳以上の方で、主治医から運動を禁止されていない方

◇募集人数

40人(先着)

◇参加費

無料

◇申込方法

保健センター窓口または電話にてお申込みください

◇申込期間

9月29日(金)～9月6日(水)

◇申込・問合せセンター

美浦村保健センター



休日当番医

診療時間：午前9時～午後4時 *都合により当番医を変更することがあります。
※お問合せ先：なるしま内科医院 ☎029-869-4820

9月	23日(土)	南平メディカルクリニック 古橋 医院	阿見 稲敷	☎029-888-0888 ☎0299-78-3770	10月	8日(日)	森脇 整形外科 ゆはらクリニック	阿見 稲敷	☎029-843-7888 ☎029-894-2002
	24日(日)	美浦中央病院 佐倉クリニック	美浦 稲敷	☎029-885-3551 ☎029-892-7011		9日(月)	あみ小林クリニック いわき内科クリニック	阿見 稲敷	☎029-888-2200 ☎029-875-5100
10月	1日(日)	さかえ 医院 江戸崎ひかりクリニック	阿見 稲敷	☎029-888-2662 ☎029-834-5777		15日(日)	阿見第一クリニック 江戸崎 病院	阿見 稲敷	☎029-887-3511 ☎029-894-2611

美浦村 子育て情報



問合せ 子育て支援センター(みほふれ愛プラザ内) ☎029-885-6511 * 午前9時30分～午後6時



子育て支援センター・児童館幼児クラブ合同 運動会 を開催します！

子育て支援センター・児童館幼児クラブ合同運動会では、保護者とお子さんが一緒に参加して、さまざまな年齢の子どもたちと楽しめる競技を行います。皆さんぜひご参加ください。

- 《日時》 10月4日(水) 午前10時から11時45分
- 《対象》 村内在住の1歳6カ月～3歳までの未就園児とその保護者および幼児クラブ登録者
- 《場所》 農林漁業者トレーニングセンター
- 《内容》 おゆうぎ・かけっこ・玉入れ・食べ物乗せてGO!他
- 《参加方法》 9月25日(月)までに子育て支援センターで直接お申込みいただくが、お電話にてお申込みください。
- 《問合せ》 子育て支援センター



子育てひろばのご案内

びよ:びよびよサロン ◇対象 2カ月～1歳3カ月、妊婦さん 火曜日午前10時～11時30分
*月に一度、保健師、助産師、栄養士による「育児相談(育)」を行っています。

プチ:びよびよプチ ◇対象 2カ月～9カ月、妊婦さん 木曜日午後1時30分～1時50分

よち:よちよちルーム
◇対象 1歳児(H27.4.2～H28.4.1生)
水曜日午前10時～11時30分

エン:エンジョイ子育て ◇対象 未就学児
金曜日午前10時～11時30分

♥:お楽しみタイム ◇対象 未就学児
月曜日、第1・3土曜日:午前11時15分～、火・水・金曜日:午後2時45分～(5～15分程度)

🏆:わいわいタイム ◇対象 未就学児
火～金曜日:午後3時30分～3時45分

おも:おもちゃ図書館
◇対象 未就学児・障がいのある方
*子どもだけでは利用できません
第2・4土曜日:午前10時～11時30分

10月の子育てひろば

日	月	火	水	木	金	土
1	2 ♥	3 びよ	4	5 プチ	6 エン 🏆	7 ♥
8	9	10 育 びよ ♥ 🏆	11 よち ♥ 🏆	12 プチ 🏆	13 エン ♥ 🏆	14 おも
15	16	17 びよ ♥ 🏆	18 よち ♥ 🏆	19 プチ 🏆	20 エン ♥ 🏆	21 ♥
22	23	24 びよ ♥ 🏆	25 よち ♥ 🏆	26 プチ 🏆	27 エン ♥ 🏆	28 おも
29	30 ♥	31 びよ ♥ 🏆				



子育て支援センターは、未就学児とその保護者が一緒に遊んで交流できる場です。子育て情報の提供、子育てに関する相談等を通じて子育て支援を行っています。お気軽にご利用ください。



お知らせ

※局番は029

美浦村役場 ☎885-0340
 みほふれ愛プラザ ☎885-6511
 子育て支援センター 同上プラザ内
 中央公民館 ☎885-4451
 中央公民館図書室 ☎885-8442
 文化財センター ☎886-0291
 光と風の丘公園 ☎885-6711
 保健センター ☎885-1889
 美浦水処理センター ☎885-0720
 大谷時計台児童館 ☎885-0597
 木原城山児童館 ☎885-1064
 大谷保育所 ☎885-1549
 木原保育所 ☎885-4488
 社会福祉協議会 ☎885-0038
 デイサービスセンター ☎885-8885
 老人福祉センター ☎885-7080
 シルバー人材センター ☎886-0007
 消費生活センター ☎885-7141
 美浦村商工会 ☎885-2250

美浦村ホームページアドレス：
<http://www.vill.miho.lg.jp/>
 Eメール：info@vill.miho.lg.jp

戦没者遺児による 慰霊友好親善事業

日本遺族会は、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。

同事業は、厚生労働省から補助を受け実施しており、先の大戦で父等を亡くした戦没者の遺児を対象として、父等の戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善をはかることを目的としています。

費用は、参加費として10万円。平成28年度参加者を除き、複数回の応募をすることができません。

◇実施地域 ミャンマー、台

金婚式のご夫婦を お祝いします

村社会福祉協議会では、結婚50周年を迎えられるご夫婦を11月に表彰・お祝いさせていただきます。

該当となるご夫婦は、所定

- 湾・パシー海峡、東部ニューギニア、ミャンマー、フィリピン、中国、西部ニューギニア、ビスマーク諸島、マーシャル・ギルバート諸島
- ◇申込先 茨城県遺族会事務局 ☎029-221-4002
- ◇申込期限等の詳細・問合せ 日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

の申込書を村社会福祉協議会へ10月6日(金)までに提出してください。なお、本籍地が村外の場合は、戸籍謄本の添付が必要となります。

※申込書は村社会福祉協議会にあります。また、協議会ホームページ(<http://www.mihoshakyo.jp/>)からダウンロードできます。

◇申請条件 次の要件をすべて満たしているご夫婦。

- ・昭和40年4月1日から昭和43年3月31日に婚姻届を提出している。
- ・平成29年9月1日現在で村内に1年以上居住している。

※すでに金婚の表彰・お祝いを受けたご夫婦は対象外となります。

◇問合せ 村社会福祉協議会

農ビ・農ポリの 適正回収を行います

村では、使用済み農業用ビニール・ポリエチレンの回収を行います。排出事業者単位で回収委託者との契約が必要となりますので、期限までにお申し込みください。回収日等、詳細は後日お申込みいただいた農家の方宛てに通知いたします。

◇回収できるもの 遮光シート、カンレイシヤ、マルチフィルム、肥糧袋、苗箱等

※農ビ、農ポリは分別してください。

◇回収できないもの 糸入り農ビ、マイ方線、畦シート、ブルーシート、その他の特殊資材、ホース類等の一部

変色したビニールや保存状態の悪いもの等

◇回収日 10月下旬

◇申請方法 9月29日(金)までに、所定の申請書(役場

◇場所 稲敷農協旧安中支店、茨城かすみ農協コンポストセンター

子育て支援課に配置)・賃貸借契約書の写し、家賃にかかる領収書の写しを提出してください。

◇委託先 (公社)農林振興公社

◇申請・問合せ 教育委員会

◇費用 登録料・1戸当たり1000円、回収料・農ビ

子育て支援課(役場庁舎2階)

母子・父子福祉住宅 手当を支給します

村では、借家住まいの母子家庭および父子家庭の方に対し、母子・父子福祉住宅手当を年2回、9月と3月に支給しています。

◇対象 美浦村に住所を有し、次の要件をすべて満たしている母子・父子家庭の方

- ・所得が、児童扶養手当における当該年度の所得制限の範囲内にある方
- ・自家住宅を所有せず、借家住まいで賃貸借している方
- ・世帯全員が村税および使用料等を滞納していない方

◇手当の額 月額4000円

◇申請方法 9月29日(金)までに、所定の申請書(役場子育て支援課に配置)・賃貸借契約書の写し、家賃にかかる領収書の写しを提出してください。

◇申請・問合せ 教育委員会

第8回 美浦美術愛好会展

お気軽にご来場ください。

- ◇開催日時 10月3日(火)午前9時～15日(日)午後5時
- ※10月8日～10日は休館日
- ◇出品者 美浦村に在住、在勤、美浦に縁のある者約25名
- ◇出品作品 油絵、日本画、彫刻、白日展および中央展等に出品した作品
- ◇会場 美浦村中央公民館
- ◇問合せ 代表平野勝男 ☎029-886-0749

IBARAKIウォークフェスティバル

- 土浦市の豊かな自然とのふれあいが楽しめる10kmのコースです。(参加費無料)
- ◇日時 10月21日(土)午前8時～午後1時(小雨決行)
- ◇場所 霞ヶ浦文化体育会館(水郷体育館)
- ◇持参する物 昼食、水筒、雨具、レジャーシート等
- ◇定員 200名(先着順)
- ◇申込方法 住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号を明記のうえ、ハガキ、FAX

X、Eメールでお申し込みください。(9月29日必着)

- ◇申込・問合せ 県生活環境部環境政策課 (〒310-8555水戸市笠原町978-16) ☎029-1301-2946、FAX…029-1301-2949、Eメール (sizenhodo18@gmail.com)

ひとり親家庭応援・パソコン初級講習会

- 仕事ですぐに役立つ、ワードとエクセルの基礎知識を学びます。
- ※託児付き(要予約・2歳以上)
- ◇日時 10月14日、21日、11月11日、18日・午前9時30分～午後4時30分
- ※全4日間・すべて土曜日
- ◇会場 クリエートPC教室(水戸市北見町8-12)
- ※無料駐車場有
- ◇定員 15名程度(先着)
- ◇対象者 ひとり親家庭の母・父および寡婦のパソコン初心者で、4日間必ず出席できる方
- ◇費用 2000円
- ◇締切 10月5日(木)必着
- ◇申込・問合せ 茨城県母子

家庭等就業・自立支援センター(水戸市三の丸1-7-41) ☎029-1233-2355、メール (shienboshi@ibaboren.or.jp)

デイスクゴルフ教室受講者募集

- 2019いきいき茨城ゆめ国体の美浦村の競技です。ぜひご参加ください。
- ◇日時 10月21日(土)、22日(日)、11月11日(土)、12日(日)、26日(日)※全5回
- ◇会場 光と風の丘公園
- ◇受講料 1000円
- ◇対象 村内在住・在勤・在学の小学4年生以上の方
- ◇申込方法 9月30日(土)までに受講料を添えてお申し込みください。
- ◇申込・問合せ 光と風の丘公園クラブハウス

ウォーキング教室 受講者募集

- 元競歩日本代表による教室です。ぜひご参加ください。
- ◇日時 10月14日(土)、22日(日)、11月12日(日)、12月10日(日)、16日(土)※全5回

◇会場 光と風の丘公園 ※最終日は霞ヶ浦湖畔ウォーキング

- ◇受講料 1000円
- ◇対象 村内在住・在勤・在学の小学4年生以上の方
- ◇申込方法 9月29日(金)までに受講料を添えてお申し込みください。
- ◇申込・問合せ 光と風の丘公園クラブハウス

就業構造基本調査のお知らせ

- 総務省統計局(茨城県・美浦村)では、10月1日現在で就業構造基本調査を実施します。この調査は、日本の就業・不就業の実態を明らかにすることを目的として、統計法に基づき実施する国の重要な統計調査です。調査結果は、雇用政策、経済政策等の企画・立案のための基礎資料として活用されます。
- 調査対象は、統計理論に基づき無作為に選ばれた全国の約52万世帯(15歳以上の世帯員約108万人)です。
- 調査をお願いする世帯には、9月下旬に調査員が伺い、調査書類をお配りします。皆様

により便利にご回答いただくため、パソコンやスマートフォンを使って、簡単にインターネットで回答することも可能となっていますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答をお願いいたします。

なお、調査票の記入内容は、統計法によって厳重に保護されます。調査員をはじめとする調査関係者が調査で知り得た内容を他に漏らしたり、統計を作成・分析する目的以外に調査票を使用したりすることは絶対ありません。これらの行為は統計法により固く禁じられていますので、どうぞ安心してご回答くださるようお願いいたします。

行政書士無料相談会

- 事前予約は不要です。
- ◇日時 10月14日(土)午前10時～午後4時
- ◇会場 美浦村中央公民館2階小会議室
- ◇内容 相続・遺言・農地法・法人設立等
- ◇問合せ 茨城県行政書士会 県南支部(桑名) ☎090-4525-13990

平日住民課窓口に来られない方へ

村では、住民課窓口業務の「時間延長サービス」および「電話予約による証明書等の休日交付」を実施しています。通常の業務内容とは異なり、ですので、ご利用の際は電話等で事前にご確認ください。

◎住民課窓口時間延長実施日

原則毎月第2・第4水曜日
※祝日等の理由により実施日を変更する場合があります。

◇9月・10月の実施日時

9月13日・27日、10月11日・25日、午後5時15分～7時

◇取扱業務 各種証明書（住民票・戸籍の証明書・印鑑

登録証明書）の発行、印鑑登録、パスポートの交付、戸籍届書の預かり（審査・受理決定は後日）

※転入・転出・転居等の住民登録業務は取扱いできません。ご了承ください。

◎住民票の写し・印鑑登録証明書の日交付（電話予約）

住民票の写しと印鑑登録証明書は、事前に平日の午前8時30分～午後5時までに電話予約いただければ、土・日・祝日等の役場閉庁日に受け取ることができません。※予約の電話は、証明書を受け取りに来庁される方ご本人が、直接役場住民課までお掛けください。

◇問合せ 役場住民課

弁護士による法律相談

日時 10月25日(水)
午後1:30～4:00
*10月2日(月)午前8:30より申込受付

心配ごと相談

日時 10月2日(月)・16日(月)
午後1:00～3:00

*事前に申込みをされていない方は、お待ちいただく場合があります。

会場・申込先
老人福祉センター ☎885-7080
主催 美浦村社会福祉協議会

教育相談

相談・連絡先 ☎☎ 885-7788

電話相談 毎週火～金曜日
午前9:00～午後4:00

来所相談 毎週水・金曜日
午前9:00～午後4:00

場所：光と風の丘公園クラブハウス
*事前連絡の上、おこしください。
相談日以外は留守番電話またはFAXで相談を受け付けています。

行政相談

日時 9月22日(金)
午前10:00～正午

場所 役場1階住民相談室

国の仕事のことなどで困ったときにご相談ください。(予約不要)

障がい者相談

日時 9月11日(月)・10月16日(月)
午後1:00～3:00

場所 地域交流館みほふれ愛プラザ

身体・知的障がい者やご家族の悩み事等何でもご相談に応じます。(予約不要)

問合せ先 役場福祉介護課

9月の納税

*納期限は10月2日(月)です。

介護保険料(3期)
後期高齢者医療保険料(3期)

村の交通事故発生状況 (7月1日～31日)

	年累計
発生件数	1 (14)
負傷者数	1 (19)
死者数	0 (1)

7月31日現在死者ゼロ継続35日

不妊専門相談センター「妊活会」

妊活(妊娠活動)について、疑問に思っていることや誰にも聞けなかったこと等、何でも聞いてみませんか。軽く身体を動かします。動きやすい服装でお越しください。みな

さんのご参加をお待ちしています。

※参加者の個人情報厳守します。

◇日時 9月24日(日)午後2時20分～4時20分

◇会場 茨城県メディアカルセンター3階会議室(水戸市笠原町489)

◇テーマ 誰でもわかる妊活

◇聞いてみよう!不妊治療

◇検査ってどんなこと?

◇対象者 妊活のための身体

◇づくり、検査や治療について

◇知りたい方

◇定員 15名

◇スタッフ 助産師・不妊力

◇ウンセラ

◇申込方法 9月20日(水)までに電話にて申込み

◇定員 15名

◇スタッフ 助産師・不妊力

◇ウンセラ

◇申込方法 9月20日(水)までに電話にて申込み

第52回 美浦村民体育祭

10月8日(日)

午前9時開会/雨天中止
会場：光と風の丘公園

※詳細は10月2日(月)の新聞折込みをご覧ください。

善 意

〔社会福祉協議会へ〕

○匿名希望2件 使用済切手
ありがとうございました。

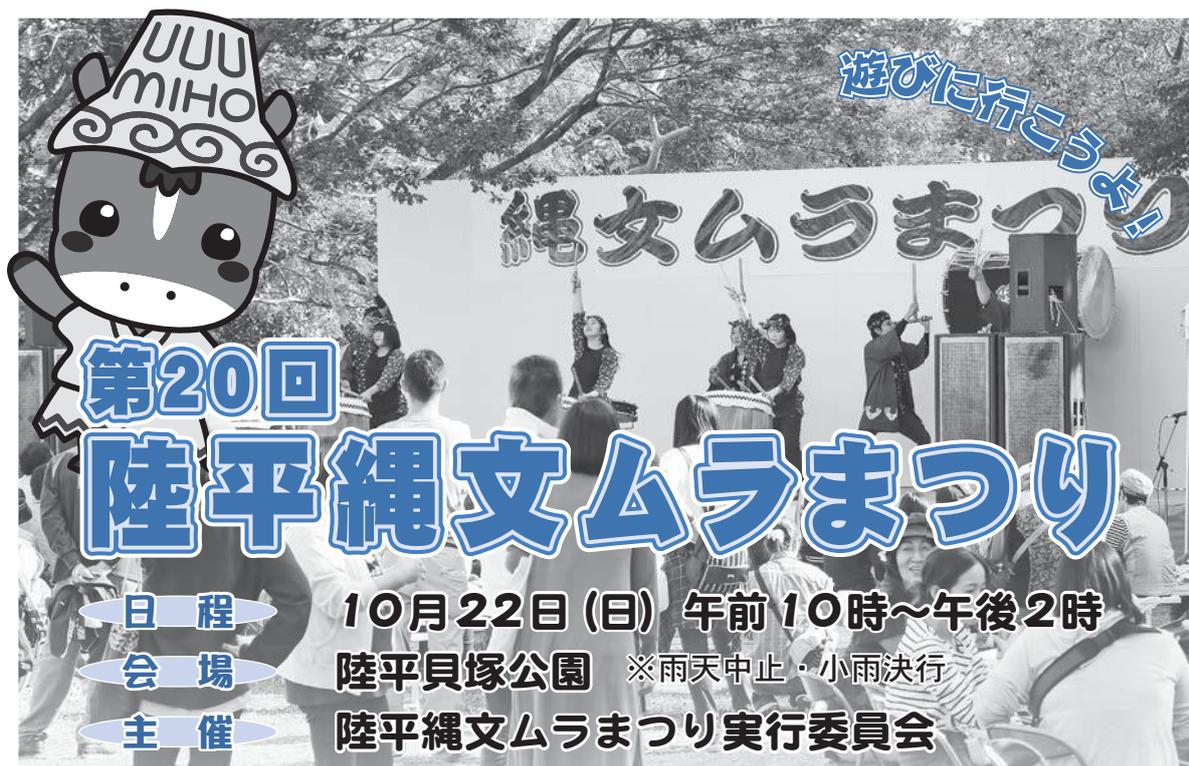
◇申込・問合せ 茨城県産婦

人科医学会 ☎0291241

11130 (平日午前9時

～午後5時まで)、ホームペ

ージ (<http://www.ibaog.jp>)



第20回 陸平縄文ムラまつり

日程 10月22日(日) 午前10時～午後2時
会場 陸平貝塚公園 ※雨天中止・小雨決行
主催 陸平縄文ムラまつり実行委員会

イベント盛りだくさん！

- * 縄文体験：土笛作り・縄文クッキー作り・火おこし・弓矢等
- * 民俗体験：うた詠み・糸紡ぎ・昔遊び・絵てがみ・もちつき等
- * ステージ発表：太鼓演奏・おはやし・安中音頭・陸平音頭・コーラス等
- * 音楽コンサート：黒耀石のふるさと親善大使・葦木啓夏
- * コンテスト：俚謡コンテスト・**新企画！**縄文服コンテスト
- * 体験スタンプラリー・各種模擬店・お楽しみ抽選会 等

※イベント内容は、変更になる場合があります。

出店団体が
縄文服で
お出迎え！

俚謡コンテスト参加者募集中！

まつりで開催される「俚謡コンテスト」に参加しませんか。
コンテストの参加申し込みは、文化財センターにて10月7日(土)まで受け付けています。皆さまのご参加をお待ちしています。

※参加方法等の詳細については、美浦村ホームページ「第20回陸平縄文ムラまつり俚謡コンテスト作品募集！」もしくは広報みほ8月号9ページをご覧ください。文化財センターまでお問合せください。

車でお越しの際は、陸平貝塚公園駐車場または安中小学校臨時駐車場をご利用ください。
なお、駐車台数が限られていますので、お乗り合わせのうえお越しください。
※駐車場から会場までの送迎有。



《陸平縄文ムラまつり・コンテストに関するお問い合わせ》

美浦村文化財センター (〒300-0404 茨城県稲敷郡美浦村土浦2359)

電話：029-886-0291、FAX：029-886-0471、メール：bunkazai@vill.miho.lg.jp

【休館日】：月曜日・祝日（祝日が月曜日の場合は翌平日も休館）